



指定管理更新のご報告

「続けて、続けて、続けて、参ります」

弊法人は、本年2月に下田メディカルセンター一部事務組合様との間に、2027年度からの新たな指定管理契約を締結し承認されました。

これは、これまで約15年間にわたり下田メディカルセンター、なぎさ園、及びみなとクリニックの事業が一定の評価を得られ、引き続き事業を継続しても良いと言うお墨付きをいただいたものと認め、改めてその責任の重さを深く受け止めております。

今後、地域では人口減少が着実に進む中、医療・介護を必要とされる高齢者は、横ばいから微減状態と予測されます。そこに、独居老人や老老介護世帯の増加が見込まれ、それら家庭環境に配慮したサービス提供が求められます。一方、医療介護スタッフの確保は、今後ますます困難が予想され、更なる努力が求められます。これらの課題を抱えつつ、まずは2032年度末まで地域の皆様がより身近にかつ安心して受けられる医療介護サービスの提供を目指して参ります。引き続きよろしくお願い申し上げます。



医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 理事長 杉原 弘晃

安全衛生委員会 勉強会開催報告



当院の安全衛生委員会では、職場環境の改善、健康診断やストレスチェックの実施など、職員の安全と健康を守るための取り組みについて、月に1回定例で審議を行っています。

このたび当委員会では、アッヴィ合同会社より講師を招き、医療従事者の針刺し事故とも関連が深い「肝炎ウイルス」に関する勉強会を開催いたしました。最新治療動向や正しい知識の習得に加え、患者さまへの適切な情報提供体制についても学びを深めました。

現在、C型肝炎は飲み薬により、最短8週間でほぼ100%のウイルス消失が期待できる時代です。厚生労働省の指針においても、検査結果を適切に説明し専門医へ繋ぐことは「医療の安全を確保するための措置の一環」として強く求められています。本勉強会を通じ、検査結果の意味を正しく伝え、



患者さまが安心して早期治療へ進めるような「分かりやすい情報提供」の重要性を再確認いたしました。

今後も、職員が働きやすい環境を整備するとともに、地域の皆様に信頼される質の高い医療を提供できるよう、多職種が協力して研鑽を積んでまいります。

安全衛生委員会 東 史也

障害児療育支援の現場から

令和4年度より「静岡県在宅重症心身障害児(者)療育支援事業」として、伊豆下田分校や松崎分校、南伊豆認定こども園等への巡回相談を行っています。本事業は運動や姿勢、日常生活に困りごとを抱える幅広いお子さんを対象に専門的な視点から支援を行うものです。

支援の現場で大切にしているのは、私達が抱く「当たり前」を一度手放すことです。例えば、授業中に机に突っ伏してしまう子がいたとします。それは単なる集中力不足ではなく、実は姿勢を保つ筋肉の弱さが原因かもしれません。私達には容易な「机に向かってノートを取る」という動作が、その子にとっては非常に困難な場合があるのです。ここに傾斜台を導入し、目線を上げる工夫をするだけで、彼らの「難しい」が「できる」に変わることがあります。

先天的な特性を持つお子さんにとって、その状態は「日常」であり、自ら「困っている」と発信することは容易ではありません。だからこそ、私達が彼らの目線に立ち、小さなサインに気付く必要があります。

少子高齢化が進む一方で、支援学校の利用者は増加傾向にあります。しかし、ここ賀茂地区では受け皿となる施設や医療体制が十分とは言えません。限られた社会資源の中で何ができるのか。私は療育支援を通じて、一つひとつの「難しい」を解消する工夫を積み重ね、地域全体で子ども達を支える体制作りにも今後も尽力してまいります。

リハビリテーション科 係長 佐々木 豪



下田メディカルセンター 入職式

令和8年4月1日（水）、下田メディカルセンターでは入職式及び辞令の交付が行われ、今年度は医師2名、看護師8名、PT1名、事務1名と多くの仲間が加わりました。

早く人と仕事に慣れて、地域医療に貢献していただくよう期待しております。

管理部 総務課 課長 加畑 哲也



入職に当たっての抱負

以前、当院の病棟クラークで働いていた際、患者さんのトイレ歩行に寄り添う看護師と笑顔で話す患者さんを目の当たりにし、安心安全に配慮した看護師の姿に深く心動かされました。私も、患者さんの笑顔に繋がる対応ができる看護師を目指し、全力で命のサポートをしていきます。

看護部 看護師 小林 恵

新入職医師紹介

(2026年4月)



たけうち しんたろう
竹内 晋太郎

外科
医師

経歴

2018年 三重大学 卒業
2018年 洛和会音羽病院
2020年 聖隷三方原病院
2023年 静岡県立総合病院
2024年 JCHO 中京病院

趣味 旅行

自己紹介

今年度、常勤として入職しました外科の竹内晋太郎と申します。これまで救急医療、集中治療にも従事していました。新しい環境で多くのことを学びながら、患者さんにとって最善の医療を提供できるよう尽力して参ります。何卒、宜しくお願いします。



なかだ たらう
仲田 太郎

内科
医師

経歴

2015年 浜松医科大学 卒業
2015年 鹿児島生協病院
2017年 奄美中央病院
2019年 鹿児島生協病院
2022年 静岡県立総合病院
2023年 東京医療センター

趣味 旅行

自己紹介

今年度より内科医として勤務いたします仲田太郎と申します。西伊豆町仁科出身で下田には敷根での少年サッカー大会やちびっこリレーマラソン、入田浜でのポディーボード等、頻りに娑羅峠を超えて良く通っておりました。一般内科、総合診療として皆様のお役に立てるよう努めて参ります。よろしくお願いいたします。

退職常勤医

(2026年3月末)

●内科 小神野 優先生 ●眼科 桐山 雅通先生 ●整形外科 富田 啓太先生

紹介・逆紹介、誠にありがとうございました。

なお、桐山先生は毎週水曜日、富田先生は第2・第4金曜日に非常勤として勤務予定です。

第54回下田・河津間駅伝競走大会 参加報告



ランニング同好会の活動として、第54回下田・河津間駅伝競走大会に参加致しました。

男性5名、女性1名のチーム編成で一般男子の部に出場し、26チーム中17位という結果でした。監督お手製のタスキを最後まで繋ぐ事を目標に日々練習を行いました。仕事終わりに敷根公園や下田の街中を走り、持久力・スピード・精神面を鍛えて本番に備えました。監督が練習の様子を動画で撮影し、インスタグラムにアップしてモチベーションを高めてくれました。本番では沿道の皆さまの声援が力となり、完走、そして目標を達成する事が出来ました！来年も何とか参加者を集めて出場したいと思います。

リハビリテーション科 庄田 一成

「がん相談支援センター」および「がんサロン菜の花」周知と連携のお願い

医療・介護・福祉関係者の皆様へ

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃より地域のがん診療、療養支援ならびに地域連携にご支援賜わり、厚く御礼申し上げます。

さて、当院では静岡県より委託を受け、賀茂医療圏（下田市・東伊豆町・河津町・南伊豆町・松崎町・西伊豆町）において「がん相談支援センター」を運営しております。その活動の一環として、患者様やご家族の心理的支援を目的とした「がんサロン菜の花」を定期開催しております。

本サロンは、令和5年12月20日の開設以来、コロナ禍による一時休止期間を乗り越え、令和8年5月時点で通算24回の開催を数えることができました。同じ悩みを持つ方々が自由に語り合い、精神的な支えや療養生活に役立つ情報を共有することで、患者様が「自分らしく」がんと向き合えるよう支援することを主な趣旨としております。診察や訪問ケアの現場で、医学的介入や介護にあられるなかで、「孤独感を抱えている」「同じ境遇の人と話したい」といったニーズをお持ちの患者様・ご家族がいらっしゃいましたら、ぜひ当サロンをご紹介します。

今後とも、医療と生活を繋ぐパートナーとして、連携を深めて参りたく存じます。宜しく御礼申し上げます。

地域医療連携室 課長 木村 健吾

【開催概要】

日時：毎月 第3木曜日 14:00～15:00

対象：がん患者様、そのご家族

名称：がんサロン菜の花（静岡県委託事業）

発行

下田メディカルセンター

〒415-0026 静岡県下田市六丁目4-10

TEL.0558-25-2525 FAX.0558-25-5050

<https://www.s-m-a.or.jp/shimoda/>

発行責任者 統括管理部長 浅野 好章

アクセス

伊豆急下田駅から徒歩10分圏。路線バスのバス停も目の前にあり、電車やバスでスムーズに来院いただけます。また、敷地内に300台収容の駐車場を用意しております。



SHIZUOKA MEDICAL ALLIANCE

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス 運営施設

みなとクリニック（外来）

〒415-0152 静岡県賀茂郡南伊豆町湊674

TEL.0558-62-0005

しらはまクリニック（外来）

〒415-0012 静岡県下田市白浜1528-2

TEL.0558-27-3700

なぎさ園（介護老人保健施設）

〒415-0152

静岡県賀茂郡南伊豆町湊674

TEL.0558-62-6800